



主力製品 精密板金部品

- 本社所在地：山梨県南アルプス市
- 事業概要：機械精密板金加工、半導体製造装置・工作機械・食品製造機器の部品製造、各種筐体製造
- 常時使用する従業員：82名
(2026年9月時点)
- 現在の売上高：15億円
(2025年8月期)
- 法人番号：4090001006793
- Web：http://www2.ai-link.ne.jp/tekunikaru/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
折居 繁好

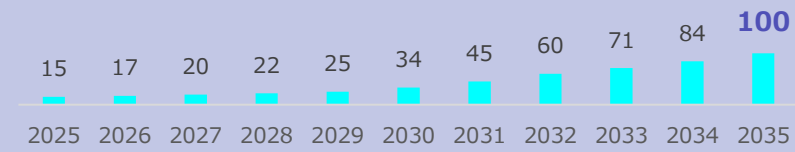
「信頼・貢献」を礎に、半導体産業のものづくりを支える

テクニカルスチールは1987年の設立以来、「信頼・貢献」を基本理念に、精密板金加工技術とパイプ・型鋼の3Dレーザー加工技術により、板金部品から溶接フレーム等の筐体製作まで、幅広くお客様のニーズにお応えしてまいりました。「大は小を兼ねる」の考えで大型の設備を先んじて備え、工場設備のネットワーク化と可視化により、半導体製造装置をはじめとするお客様に、欲しいときに必要なものを迅速にお届けしております。これからも全社員一丸となって自ら技術の可能性を追求し、社員が健康で長く働ける職場をつくりながら、この先50年後も地域社会になくてはならない存在であり続けることで、売上高100億円を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高100億円達成に向け、本社工場増築と第2工場新設により年率21%程度の成長を目指す。



課題

- 毎年の増産要請に対し上限に達しつつある生産能力
- 製品置き場と検査・梱包・出荷の後工程スペースの不足
- 仕入価格の上昇に見合う価格改定と粗利率の回復
- 生産能力の倍増に伴う間接人員を含む大幅な増員と育成
- 第2工場の建設に要する資金の確保

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 本社工場の増築による後工程の集約と生産能力の約2割拡大
- 同一敷地内への第2工場新設による生産能力の倍増
- 半導体製造装置製造メーカーへの供給拡大と他装置メーカーへの展開
- 価格改定と高単価品の構成比向上による平均単価の引き上げ
- M&Aを視野に入れた塗装・表面処理の内製化
- 脱職人の生産方式による未経験者の早期戦力化と採用の拡大

実施体制

- 経営陣直轄チームにより重点プロジェクトの進捗管理と部門横断の連携を担保
- 月次で進捗モニタリング会議を開催、KPI管理を徹底
- 賃上げによる魅力的な職場創りと人材確保
- 設備投資と人材投資のバランスを図りつつ持続的な成長資金の確保を実施
- 金融機関との連携による第2工場建設を含む中長期の資金調達体制の構築